

## 平成25(2013)年 ~ 木曾岬町の将来像 ~

高速道路網の整備が進み、中部地方、さらにはわが国の交通の要となっています。

木曾岬干拓が、自然に親しむ土地利用と高度な都市的土地利用などの「新世紀フロンティア空間」となっています。

「ものづくり中部」の一翼を担い、知識集約型産業の一大拠点としての役割が期待されています。

「新しい顔」である新市街地が形成され、広域的な商業・業務核となっています。

